



発行所 青山同窓会 新潟市関屋下川原町二 新潟高校内 発行人 齊藤希弐 印刷所 オリオン印刷機

空前の大総会実現

昭和四十五年度青山同窓会総会が七月三日開催された。創立八十周年を一年後に迎える新潟中学、新潟高校の結束の強さは美事誇示されたといえよう。六百名をはるかに越える同窓生が総会懇親会に馳せ参じた。伝統の古き、社会での横の広がり確かめ、今後の発展の力強いスタートを契りあつたことは意義深い。以下は盛會裡に終った昭和四十五年度青山同窓会総会のつづきなる報告である。

西暦一千九百七十七年七月三日金曜日、夕刻ヨリ昭和四十五年度青山同窓会総会並に懇親会ヲ新潟市西堀通五番町小林百貨店七階大食堂ニ於テ開ク。集ウモノ六百三十余名、同会未曾有の盛況ナリト。

矢声ヲ以テ台上美娘子ノ振技ヲ賞賜ス。可憐、会場狭隘トナリ旧友先後輩の歡談意ノゴトクナラザルヲ恨ムノ声アルニ至ル。古文書ふうの書くところなることになろう。舞台裏のいたことをい



矢声ヲ以テ台上美娘子ノ振技ヲ賞賜ス。可憐、会場狭隘トナリ旧友先後輩の歡談意ノゴトクナラザルヲ恨ムノ声アルニ至ル。古文書ふうの書くところなることになろう。舞台裏のいたことをい



会長 鍵富清一郎

皆さん あけまして おめでとうございませう。皆さんのご協力で、同窓会も年々発展してまいりました。ありがとうございます。

来年は、いよいよ母校の創立八十年を迎えることになりました。目下それにふさわしい記念行事を検討しておりますが、どうぞよろしくご協力をお願いいたします。

準備のとし

幹事長 齊藤希弐

◇ ことは、新潟としては全く珍らしい雪なし正月で、とくに新年三日間のおだやかさは、生まれこのかた身に覚えのないありがたさだ。世界も日本も、社会情勢のきびしさが予想される七〇年代の緊張を要する門出であるが、新潟っ子であればこそ、たとえつかのまにしろ、なんとなく気持ちにやわらぎをのびせてくれたらうだ。◇ さて、ことは、会長のあいさつのように、母校の創立八十年を来年に控えて、その準備のしである。ほかにどんな計画が出てくるにしても、同窓会の先ずの事は正確な名簿の完成である。それがどんな大仕事であるかは七十年の時

の経験で身にしみてゐる。当事者の骨をけずる努力とクラス幹事諸兄の協力を以てしても、およそ正確の名に値するものは、実際上不可能であった。不可能である条件がありすぎた。しかし、名簿と名がつく以上、正確なものへ一歩でも近づき努力が無条件で要求される。それに、今までのように十年に一度の発行では、その十年間、ざつと五千名近い同窓の現況が全然不明のまま連絡もできないのだから、それは直ちに会の活動の不振にもつながるわけである。なにもともあれ、即刻名簿の方の準備から開始することにしたいので、同窓会のご協力を心から懇願する次第である。

約半分が大食堂、その反対側に特別食堂があり、間が特選売場となつてゐる。大食堂の入り口には食券売場、見本ケース、コーヒースタンドがある。大食堂の収容力はギリギリで四百五十人。特別食堂は五、六十人というのがデパートの説明だ。これに対して出席者の見込みは当初目標五百人から六百人以上にふくれた。対策は――特選売場のケースを片寄せしてしまう。食券売場も食堂の見本

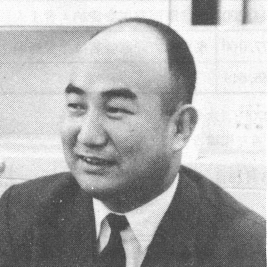
さても見えて、見渡せば向こうはかすんで見える(タバコの煙のせいもある)。おまけに会場の中を太い柱の列が走つてゐるので、中央正面のステージが見えぬところが多い。それはともかく老若男女(女は四人。残念)がヒジを接し、背中を接して会場を埋めつくした姿は壯観というほかない。午後六時よつと回つたころ開会宣言。斎藤実行委員長と鍵富会

長の間際なる挨拶、続いて母校南雲先生のリードで旧年の校歌斉唱。同窓の長老本間孝義氏(11回)の音頭で乾杯、開宴となる。エレクが懐しの応援歌のメドレーを奏でる中で、たちまち談笑の熱気が上昇、それが共鳴して、会場全体がワン、プアワンとうなる。「エレクトーンの音を落とせ。会話に支障を来す」「いいじゃないか、応援歌はいつ聞いても……」と合の手がはいる間に、早くも一角から応援歌の合唱が湧く。エレクトーンが終わつて登壇したのが万代太鼓。威勢よく、しかも会場を引き締めようというねらいだ。だが、いかんせん天井が低すぎた。頭が痛くなる」というクレームに司会者オロオロすれど、演ずる飛電の面々、晴れの舞台上に張り切つて太鼓の響きや増すばかり。あ、広々としたところであつた

新潟と東京

昭和四十五年度東京青山同窓会総会

副幹事長 福田 満 (58回)



副幹事長 福田 満 (58回)

三〇〇名近くを集めたので新潟本部においても大変注目された。折しもヤングパワーなる流行語もつてこれをやり遂げた訳で六〇回の諸君の努力は文字通り手弁当犠牲の精神の華であつた。然しながらヤングパワーは例外なく暇もないのに金はない、そう年がら年中同窓会で集つて居る訳にも行かない。年々新会員が増えている筈なのに四十四年二五〇名四十五年二〇〇名と出席者は次第に減つて来たのである。これは東京青山同窓会再編スタートが刺戟になつて各回のクラス会が活発になり謂はば横の面への拡がりとなつて発展して行つたと見るべきかも知れない。しかし決してこれに満足してはならない。何事も日々良しとしていた訳ではないが謂はば東京青山同窓会も新生第一期を終つた訳で第一期に移らなければ

今春卒業の諸君に告ぐ!!

今春卒業して進学又は就職で上京された場合は、東京青山同窓会事務局へ住所氏名を連絡して下さい。事務局には先輩の幹事諸氏が常に同窓会の連絡をはかつてくれてありますので何かと都合がよいと思います。

東京青山同窓会事務局 池田ビル (株)経営能率センター内 東京青山同窓会事務局 事務局長坂井俊一(64回卒)

上村光司 総会副実行委員長

渡辺浩太郎

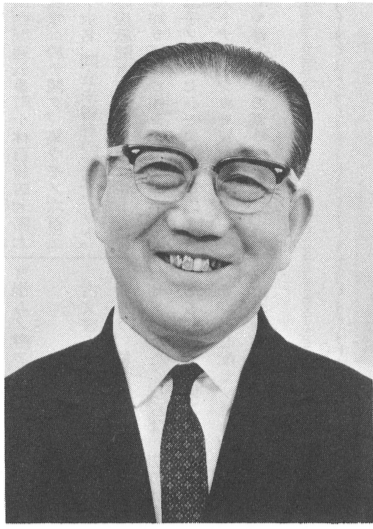
後援会総会の記

かねて会員の有志により同窓会内に現新潟市長渡辺浩太郎氏(三〇回卒)の後援会が結成されてい

たが、久しぶりにその総会が昨年十一月五日午後六時小林百貨店の大食堂で開催され、二百八十名の会員が参集して盛大に渡辺氏の前

途を激励した。

渡辺氏は昭和三十四年四月新潟市長に当選、以後連続三期十二年



にわたり市政を担当、前人未踏の業績を市勢の発展に示現している

事実あまなく世人の認識するところである。

来たる四月の統一地方選挙には、四たび立って市民の期待に応える

決意のあることと聞いているが、この際、同窓として積極的に後援

会へ加入されて、一層強力に渡辺氏の将来の活躍を支持応援して下

さるよう切願する次第である。

尚、後援会の組織は下記の通りである。

- 会長 鎌富清一郎 一九回
- 副会長 田中堅太郎 三二回
- 同 等々力英男 三八回
- 幹事長 齊藤希三 三三回
- 幹事 齊藤希三 三三回
- 常任幹事
- 遠藤種雄 30
- 福山 健 39
- 大塚進弥 48
- 熊木淳一郎 50
- 広川彰恩 52
- 筑波竜二 52
- 朝倉良三 29
- 山下隆吉 30
- 沢山 巖 35
- 佐藤和吉 43
- 錫村春海 48
- 篠原長一 53
- 藤井泰介 56
- 大石一郎 57
- 青柳広士 58
- 小林智明 60
- 新谷 稔 62
- 赤羽良樹 63
- 吉田雅芳 63
- 高野 弘 66
- 石田瑞穂 67
- 中野 仁 67
- 小川忠雄 70

立候補を

予定される同窓

本年おこなわれる各種選挙に立候補されるものとして現在編集部でキャッチした人たちは下の通りである。

藍綬褒章の授与

昨年左記の通り同窓に対し褒章の授与があった。

- 佐野 賢一郎 三三回卒
- 村山 勇一郎 三七回卒
- 新潟交通常務取締役
- 新潟市議会議員
- 人事部長
- 地方自治に対する多年の
- 交通業務に対する多年の
- 功績に対して、十月十四日付
- 功績に対して、十月二十
- 二日付
- (編集部調査)

○参議院議員(地方区)

佐藤 隆 五回

○県議会議員

加賀田二四夫 三六回

○市議会議員

倉田 勇吉 三三回

齊藤 武雄 三四回

村山 勇一郎 三七回

野沢 正一 三九回

平田 甚 四〇回

高野 一 四五回

大桃 十三雄 四六回

早福 卓 五五回

大石 一郎 五七回

吉田 雅芳 六三回

以上のところであるが、同窓諸兄も周知の上それぞれの立場でよろしくご配慮賜りたく願う次第である。

昭和44年度青山同窓会収支決算書

収入の部 (自 昭和44年4月1日 至 昭和45年3月31日)

科目	決算高	備考
繰越金	130,258	前年度繰越金
入会金	171,300	全日制生徒1人100円×1,422人=142,222円 通信制卒業生1人300円×97人=29,100円
新卒業生会費	283,400	全日制生徒1,2年生1人200円×927人=185,400円 3年生1人100円×495人=49,500円 通信制卒業生1人500円×97人=48,500円
会費	498,500	同窓生1口500円 997口分
雑収入	3,261	預金利子
合計	1,086,719	

支出の部

科目	決算高	備考
人件費	209,270	職員1人給料手当
通信費	133,491	会報発送・総会・新年会・役員会案内状発送郵便料・振替料負担金
印刷費	21,040	封筒・振替用紙・案内状印刷代
慶弔費	38,105	会員慶弔電報料・香典料・校長病氣見舞 難任職員別代
職員退職手当	50,000	
雑費	8,268	失業保険料負担金・諸雑費
会報印刷費	172,400	年2回発行会報印刷代1回3,500部
会議費	159,575	総会・新年会・会議費・クラス会寄贈酒代 東京総会・支部総会出席会費並旅費
卒業生記念品代	95,300	卒業生に贈るバッヂ・湯のみ代
青陵祭補助金	10,000	青陵祭用ポスター印刷代・風せん 300ヶ代
通信制青山同窓会補助	14,200	通信制同窓生会費納入者1人につき200円71人分
予備費	77,000	東京青山同窓会名簿作製補助
合計	988,649	

収支差引残高 98,070円(次年度繰越)

上記の通り相違ないことを確認する。

昭和45年5月13日 監事 福山 健 沢山 巖

昭和45年度青山同窓会収支予算書

収入の部 (自 昭和45年4月1日 至 昭和46年3月31日)

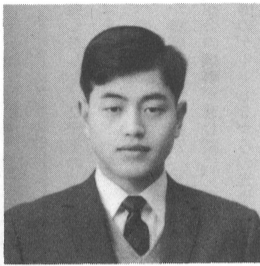
科目	予算高	備考
繰越金	98,070	前年度繰越金
入会金	156,000	全日制生徒1人100円×1,380人=138,000円 通信制卒業生1人300円×60人=18,000円
新卒業生会費	259,500	全日制生徒1,2年生1人200円×915人=183,000円 3年生1人100円×465人=46,500円 通信制卒業生1人500円×60人=30,000円
会費	500,000	同窓生1口500円 1,000口分
雑収入	3,000	預金利子
合計	1,016,570	

支出の部

科目	予算高	備考
人件費	250,000	職員1人給料手当
通信費	150,000	会報発送・総会・新年会・役員会・案内状発送郵便料・振替料負担金
印刷費	30,000	封筒・振替用紙・案内状印刷代
慶弔費	35,000	会員慶弔電報料・香典料・難任職員別代
職員退職手当	50,000	
雑費	11,570	諸雑費
会報印刷費	175,000	年2回発行会報印刷代
会議費	150,000	総会・新年会・役員会・会議費・クラス会寄贈酒代 東京総会・支部総会出席会費並旅費
卒業生記念品代	110,000	卒業生に贈るバッヂ・湯のみ代
青陵祭補助金	10,000	
通信制青山同窓会補助	15,000	
予備費	30,000	
合計	1,016,570	

収支差引残高 なし

井沢清氏逝去



去る十二月二十九日、第68回卒業生の井沢 清氏(29)が逝去された。

井沢氏は、新潟高校を昭和三十五年に入学、卒業後は、脳研究所神経内科へ入局し、神経学の研究に励んでおられた。昨年九月より秋田市の日赤病院へ三ヶ月の出張中であつたが、帰新を一週間後にひかえた十二月七日朝、意識不明の状態が発見され、治療のかいなく、二十九日に他界された。急性壊死性脳炎が疑われている。

井沢氏は、幼時よりきわめて優秀で、学問を愛し、大学でも皆の期待を集めておられたが、その思いやりの深いあたたか、かいか人柄と責任感の強さはそれ以上に人々の心をひき、医師として勤務されるようになってからは、大学でも出張先の診療所でも、患者さんたちの信望はとりわけあつた。彼の診療態度の厳しきは妥協を許さぬもので、此度も、すでに発熱し、具合の悪い日が続いていたにも拘らず、それをおして夜遅くまで重症患者の治療にあたつておられた。

「彼の日常のレベルとは全く違つたレベルで彼のイメージはうごめいていた。それは時には飛び散つたり、燃えあがりたり、だまりこくたりする。彼の作品は、そのような彼の内側のドラマを、かいまのぞかせる窓口なのである。」

(赤穴 宏 東京芸大講師)

若き青山の画家の内面の発露とその結晶をわれわれは期待し、また心から声援の拍手を静かだが、力強く贈りたいものである。

佐善 明氏 (63回) 油絵小品展を開く

昭和45年11月26日、12月1日、ささやかながら、力強い個人展が大和百貨店アトサロンで開催された。昭和30年本校を卒業した佐善明氏は、新潟大学教育学部に入学生後、数々の展覧会で入賞、入賞を重ねた。昭和35年同校を卒業。昭和44年には、第33回新制作協会展



巻高に

同窓会館建つ

県立巻高等学校(校長飯塚正雄氏)に同窓会館が竣工した。

巻高校は生徒数約一四〇〇名。かねてから、進学にクラブ活動に熱意のある学校として評判が高い。同校に着任された飯塚校長は、職員と生徒の密度の高い交流、生徒同志の和合を学校経営の中心と考えられ、その場としての同窓会館の設立を考へられた。

同窓会は早速、校地に隣接する土地を購入、敷地として提供。同窓会、PTA、地元(一般寄附)の協力を得て、コンクリート二階建、延面積87坪(経費一六〇〇万円)の会館が昨年十二月二十二日竣工したのである。

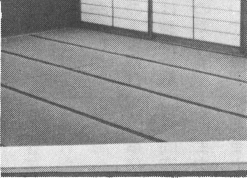
飯塚校長はもちろん、職員、生徒、父兄、同窓会員のよこごびはひとしおのようである。師弟一体の寝食をとる密度の高い教育施設が実現されるよう望みたいものである。

(上杉)

↓ 外 観



↑ 内 部



いつの日か 再び全国制覇を

51回 飯塚 実

一、創生の頃

新潟県下に高校レスリングが賑わい、昭和二十三年に風間栄一氏(現新潟県レスリング協会会長)が、家業の風間商店経営のため帰郷され、新潟高校

並びに新潟商業にそれぞれ有志を集められ、レスリングの基礎教育を始めたときからであります。終戦間もない当時は、旧制中学から新制高校へ切り替った頃であり、また学内における柔道、剣道

は禁止され、かつての柔・剣道部員はちりぢりに散っていった頃であります。血気盛んな、腕に多少の自信のある若者は、レスリング部の誕生を聞いてぞくぞくとその門を叩いたのであります。

二、全国制覇への歩み

部員数はすでに四十数名を数え、やがて慶応、早稲田の大学レスリング部の合宿を招き、青山レスリング部の地歩は着実に固められていったのであります。

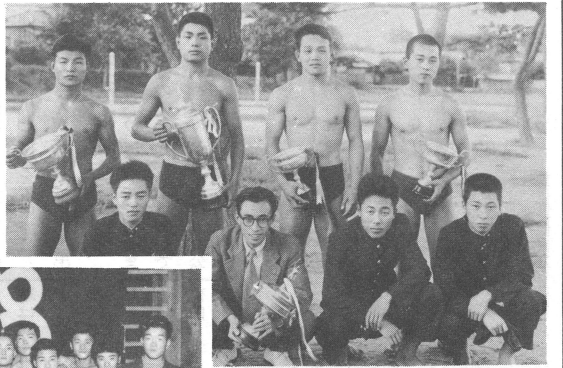
(以下の記述は第三期小林昭二君、四期渡辺和義君、五期加藤美明君の協力によるものです)

当時の高校レスリング界は全国的に急速な普及ぶりでした。東京神奈川、千葉、群馬、静岡、大阪、兵庫、愛知、富山、仙台等は特に盛んであり、県内では当校を筆頭に新商、明訓、北越商業、市立工業の五校が相ついで部を創設し、来るべき全国大会に向けて連日猛練習を行っていたのであります。

第一回全国高校レスリング大会は、昭和二十五年四月新潟商業高校体育館において、三笠宮殿下御臨席のもとに全国から選抜された二十五校が参加して覇を競うこととなったのであります。

当校の代表選手は
フライ級 河野
バンタム級 飯塚
フェザー級 高橋
ライト級 塚田
ウェルター級 菊地

わがチームは大阪市、富山、井高、兵庫、鈴鹿、高松、地元明訓高を次々と破り決勝戦に進めたのであります。最後に相対するのは新潟商業で地元同士の決戦となり肉弾相つ壮烈なる死闘が繰りひろげられたのであります。ポイントゲッター塚田の思わぬ苦敗があり、三対二で慙愧の涙にむせんだのであります。しかし個人戦では奮起した塚田が優勝を飾り、河野もまたチャンピオンの座をものにしたのであります。しかし翌日から打倒新商を相言葉に以前にも増した猛練習が開始されました。夏は汗と油でキャンパスがヌルヌルと滑り、冬は破れたガラス窓から吹込む雪が二・三センチも積り、前日の練習の汗が氷りつき、裸足にできたシモヤケをうづかせながら唯々全国制覇の夢を現現させるため練習を続けました。



↑黄金時代の主力メンバー(昭和27年)松浪先生を囲んで前列右から高橋・高浪・松浪先生・薄田 後列右から小山・大倉・渡辺(故人)・番場

第二回戦 新潟高四一滑川高(富山) 一敗を喫す。

第三回戦 新潟高四一光陵高(愛知) 勝利に乗り大方の予想をつぎつぎとくつ返し、第一日を勝ち抜き、二日目の決戦の日を備えることとなったのであります。宿舎に帰り全員早々に床に入ったものの暑さと蚊のせいもあって、会場の静かな中で両者握手して東西に別れ、ゴングと共に飛び出す。三回戦までの戦歴から小林や、不利との予想であったが、両者全く互角の勝負となり、お互いポイントのないまま、引き分けかと思われたが、終了寸前小林のタックルが見事にきまり、貴重な一勝をあげます。

○市岡判定岩井(武) 主将市岡の斗志もすくなく、岩井相手にならず、大差で一勝をあげる。さすがの佐倉の大応援も岩井の大敗に静まり返り、会場は異様な雰囲気となる。

○小林判定 月館 静かな中で両者握手して東西に別れ、ゴングと共に飛び出す。三回戦までの戦歴から小林や、不利との予想であったが、両者全く互角の勝負となり、お互いポイントのないまま、引き分けかと思われたが、終了寸前小林のタックルが見事にきまり、貴重な一勝をあげます。

○大倉判定 石橋 佐倉の大応援は劣勢を挽回せんもの、会場も割れんばかりの大喚声で石橋を励ます。コーチのアドバイスもマツに届くところとならず、大倉いつもの精彩を欠

く。予想に反しついに大倉屈し、二対二の同点で最終戦を迎えることとなった。佐倉、これまでの劣勢を一気に挽回せんと、ここを先途と声援を送り、意気大いに揚る。ウェルター級

○渡辺判定 鳩谷 一大声援に送られてマツの上に現れた両者をみると、体格は大人と子供位の差で、鳩谷が二対二回も三回も大きく、応援席はすでに佐倉の勝利を信じ切っているかの如き徴候が現れる。しかしマツト上は両者相つらず、全く互角の勝負が続く。場内騒然とし監督の言葉も全く途絶。両者力の全てを出し盡し、立っているのさえせいはいのの様子。時間は刻々と過ぎ余す時間もなくなってきた。その時、渡辺最後の力を振りしぼり、相手の腰を目標けて飛び込む。ドッと相手は倒れついにポイントをあげると同時に試合終了のゴング。

○大倉判定 石橋 佐倉の大応援は劣勢を挽回せんもの、会場も割れんばかりの大喚声で石橋を励ます。コーチのアドバイスもマツに届くところとならず、大倉いつもの精彩を欠

く。予想に反しついに大倉屈し、二対二の同点で最終戦を迎えることとなった。佐倉、これまでの劣勢を一気に挽回せんと、ここを先途と声援を送り、意気大いに揚る。ウェルター級

○大倉判定 石橋 佐倉の大応援は劣勢を挽回せんもの、会場も割れんばかりの大喚声で石橋を励ます。コーチのアドバイスもマツに届くところとならず、大倉いつもの精彩を欠

栄光燦たり

特集



8回レスリング部

全国高校優勝カップを囲んで(昭和二十六年)
前列右より大倉2、小林3、飯塚監督、市岡3、渡辺(和)、中列右より古川1、佐藤1、渡辺(富)、後列右より高橋1、小山2、高浪2、番場2(故人)、伊藤1(旧姓薄田)、加藤1

わが青山レスリング部の第一期生は、福田満氏(後に柔道に再転向)、大山氏(相撲部と兼部)であり、続く二期生は塚田俊夫、高橋正利、石黒淳介、星山雄行、河野秀雄、松本俊彦、福島隆一、菊地晴彦、田中七郎、伊佐修、島中勝、堀口昭雄、安田保、飯塚実、その他多数の賛助部員を擁し、青山レスリング部創設の原動力となり、一躍校内クラブ活動のボス的存在にのしあがったのであります。軟派を嫌い、硬派を自負する悪童共が一つの固まりとなつて、肩で風を切って校外外を闊歩し始めたのであります。部創設時の良き相談相手は柔道の馬場先生であり、初代の顧問には佐野先生(幾何)にお願いたしました。誠に始末に負えない連中を相手によく面倒を見てくださったものと、今更の如く感謝するのであります。

そのかわりと申してはなんですが、冬の寒い季節ともなると登校するや否や風呂をわかし始め、二度二時間の終る頃にはほど良い湯加減となり、気の合った先生方をお誘いして背中をお流し申し上げたのであります。良くこの風呂に入られた先生の一人に確か池政栄先生(現新潟南高校長)がおられたように記憶しております。

さて、レスリング道場は昔の柔道場で西側体育館でありました。古だたみの上に目の荒い布製のキヤンパスを敷いて、顔、腕、膝等々所かまわずすり傷だらけとなり赤チンキのかく間のない稽古が連日繰り返されたのであります。当時すでに関西、中京方面で高校レスリングは盛んであり、関東にあつては、千葉の佐倉高校が一方の雄として名を轟かしておりました。地元では新商が精鋭を揃え、お互いに虎視眈々としていたのであります。昭和二十四年の国民体育大会(東京)にはわが部から、星山、塚田、飯塚の三名を送り出し、その年十一月には佐倉高チームを招き、新潟師範体育館で初の対校試合が開かれ、新商、佐倉高を破つてわが青山チームは全勝優勝に輝いたのであります。

部員数はすでに四十数名を数え、やがて慶応、早稲田の大学レスリング部の合宿を招き、青山レスリング部の地歩は着実に固められていったのであります。

(以下の記述は第三期小林昭二君、四期渡辺和義君、五期加藤美明君の協力によるものです)

当時の高校レスリング界は全国的に急速な普及ぶりでした。東京神奈川、千葉、群馬、静岡、大阪、兵庫、愛知、富山、仙台等は特に盛んであり、県内では当校を筆頭に新商、明訓、北越商業、市立工業の五校が相ついで部を創設し、来るべき全国大会に向けて連日猛練習を行っていたのであります。

第一回全国高校レスリング大会は、昭和二十五年四月新潟商業高校体育館において、三笠宮殿下御臨席のもとに全国から選抜された二十五校が参加して覇を競うこととなったのであります。

当校の代表選手は
フライ級 河野
バンタム級 飯塚
フェザー級 高橋
ライト級 塚田
ウェルター級 菊地

わがチームは大阪市、富山、井高、兵庫、鈴鹿、高松、地元明訓高を次々と破り決勝戦に進めたのであります。最後に相対するのは新潟商業で地元同士の決戦となり肉弾相つ壮烈なる死闘が繰りひろげられたのであります。ポイントゲッター塚田の思わぬ苦敗があり、三対二で慙愧の涙にむせんだのであります。しかし個人戦では奮起した塚田が優勝を飾り、河野もまたチャンピオンの座をものにしたのであります。しかし翌日から打倒新商を相言葉に以前にも増した猛練習が開始されました。夏は汗と油でキャンパスがヌルヌルと滑り、冬は破れたガラス窓から吹込む雪が二・三センチも積り、前日の練習の汗が氷りつき、裸足にできたシモヤケをうづかせながら唯々全国制覇の夢を現現させるため練習を続けました。

第二回戦 新潟高四一滑川高(富山) 一敗を喫す。

第三回戦 新潟高四一光陵高(愛知) 勝利に乗り大方の予想をつぎつぎとくつ返し、第一日を勝ち抜き、二日目の決戦の日を備えることとなったのであります。宿舎に帰り全員早々に床に入ったものの暑さと蚊のせいもあって、会場の静かな中で両者握手して東西に別れ、ゴングと共に飛び出す。三回戦までの戦歴から小林や、不利との予想であったが、両者全く互角の勝負となり、お互いポイントのないまま、引き分けかと思われたが、終了寸前小林のタックルが見事にきまり、貴重な一勝をあげます。

○市岡判定岩井(武) 主将市岡の斗志もすくなく、岩井相手にならず、大差で一勝をあげる。さすがの佐倉の大応援も岩井の大敗に静まり返り、会場は異様な雰囲気となる。

○小林判定 月館 静かな中で両者握手して東西に別れ、ゴングと共に飛び出す。三回戦までの戦歴から小林や、不利との予想であったが、両者全く互角の勝負となり、お互いポイントのないまま、引き分けかと思われたが、終了寸前小林のタックルが見事にきまり、貴重な一勝をあげます。

○大倉判定 石橋 佐倉の大応援は劣勢を挽回せんもの、会場も割れんばかりの大喚声で石橋を励ます。コーチのアドバイスもマツに届くところとならず、大倉いつもの精彩を欠

く。予想に反しついに大倉屈し、二対二の同点で最終戦を迎えることとなった。佐倉、これまでの劣勢を一気に挽回せんと、ここを先途と声援を送り、意気大いに揚る。ウェルター級

○渡辺判定 鳩谷 一大声援に送られてマツの上に現れた両者をみると、体格は大人と子供位の差で、鳩谷が二対二回も三回も大きく、応援席はすでに佐倉の勝利を信じ切っているかの如き徴候が現れる。しかしマツト上は両者相つらず、全く互角の勝負が続く。場内騒然とし監督の言葉も全く途絶。両者力の全てを出し盡し、立っているのさえせいはいのの様子。時間は刻々と過ぎ余す時間もなくなってきた。その時、渡辺最後の力を振りしぼり、相手の腰を目標けて飛び込む。ドッと相手は倒れついにポイントをあげると同時に試合終了のゴング。

勝った。勝った。勝った。いつの日かわが母校に全国制覇の喜びが再び訪れるよう心から祈念してこの稿を閉じるものであります。

編集部注

青山在学中、数々の輝かしい戦果を挙げた諸君も卒業後は大学に進学し、青山出身者として、大いに活躍した。

早稲田大学へは、塚田、河野、田中、小林、大倉が次々と進学、早大レスリングの主力となり、明治大には飯塚、渡辺等が進学、その他、各大学へも多数進学、学生選手権、全日本選手権等で活躍するところとなった。

中でも特筆すべきは、飯塚選手で、大学進学後、学生選手権において、二十八年から三年連続優勝、全日本選手権にも連続、バンタム級の王座となり、三十一年のメルボルンオリンピックの選手として活躍した。その間、二十九年、三十年のアジア大会に連続優勝、バンタム級の飯塚時代とてはやされたことは我が同窓の誇りとして記憶に新しいところである。

予想に反しついに大倉屈し、二対二の同点で最終戦を迎えることとなった。佐倉、これまでの劣勢を一気に挽回せんと、ここを先途と声援を送り、意気大いに揚る。ウェルター級

○小林判定 月館 静かな中で両者握手して東西に別れ、ゴングと共に飛び出す。三回戦までの戦歴から小林や、不利との予想であったが、両者全く互角の勝負となり、お互いポイントのないまま、引き分けかと思われたが、終了寸前小林のタックルが見事にきまり、貴重な一勝をあげます。

○大倉判定 石橋 佐倉の大応援は劣勢を挽回せんもの、会場も割れんばかりの大喚声で石橋を励ます。コーチのアドバイスもマツに届くところとならず、大倉いつもの精彩を欠

欧米を旅して

60 回 上 杉 雅 之
新潟 高校 教諭

新潟 高校 教諭

(はじめに)

文部省の、昭和四十五年度教職員海外教育視察団の一員として、全国の小学校長、教育委員会の諸先輩二十四名の中に加えていただき、主として通訳の仕事をしたが、六月二十四日から七月二十三日までの一カ月間、イタリア、スイス、ドイツ、イギリス、フランス、スペイン、アメリカの七カ国を視察する機会に恵まれた。

七カ国についても、十三の都市を、しかも三十日という限られた短い期間に廻ったのであるからそこで見えたもの聞いたことは、それらの国の、ほんのわずかな一部であり、次々と変っていく幻灯の画面を見ているようなものであるかもしれない。

次に、比較的知られていないスイスの教育事情を主に御報告するが、あくまでも一旅行者の、印象記であり、スケッチであることを前提として読んでいただければ幸いです。

(スイスの教育について)

スイスには一週間滞在し、首都ベルン市とジュネーブ市を訪れ、国民学校、ギムナジウム(日本の中学校と高校をまとめた主として大学進学のための学校)、職業学校、ろう学校の視察と、ジュネーブ在住の山川領事、ジュネーブ教育局シャビー氏、ベルン市教育局ウィーバ女史からスイスにおける教育について話を聞くことができた。

スイスにおいては、国内文部省というものはなく、連邦政府は憲法で定められた教育の自由と義務制、無償の初等教育とを監督助成するだけで、教育の実施の責任は、各州(canton)にまかされてきている。したがってスイス全土には二十二の州があるので、その

数だけの教育行政と教育法があるということになる。以下ベルン市とジュネーブ市のことに限り、その特徴的な面を紹介しよう。

A、国民学校

1 義務教育は九年である。四年生になると試験があり、ギムナジウム(高校コース)へ進む者職業学校に進む者、基礎国民学校に残る者の三コースに分かれる。義務教育期間中でも、四年生以下で、ドイツ語(国語)算数の成績が悪いと留年させる(八六〇人中四十四人)

2 学校級の児童数は二十三人から二十五人くらいまで。

3 宗教教育は一年生から四年生まで週二時間。一、四年生は旧約聖書、五、九年生までは新約聖書の学習をする。

4 授業は主として暗記暗誦の形式が中心で、伝統を重んずる国柄を思わせる。

5 五年生から外国語(英語、もしくはフランス語、イタリア語)の勉強がある。多くの国と接する国柄だからであろう。

6 男女の教育課程が分かれている。主として体育で男子の時間が多く、また女子の家庭科の時間が二、四時間。ちなみにスイスでは国として婦人の参政権は認められていない。

7 道徳や礼儀作法は、各教科をとおして教育するが、一般にきびしい躰は家庭と社会であるものだということ徹底している。

8 昼食休みは二時間あり、給食はないので生徒が家に帰る。

9 通知表は年一回だけ。評定は六・五・四・三・二・一の六段階。独語、算数が四以下の場合は落第となり、二年続いた場合は放校となる。

10 学校環境は極めてよく、緑の森と芝生にかこまれ、公園の中にありようである。

11 学校の教育方針は「喜んで自分の仕事ができる人間を世に

抽象的な思想活動面での動きは全くない。教師と生徒との対話がよくなるように行なわれているので、問題は起らない。

6 学習方法は主として暗記暗誦、かなりの語訳教育が行なわれている。

7 大学進学者はギムナジウム在籍者の約二〇〜三〇%。進学志望者は、卒業期に実施される大学入試資格テストを受け、希望の大学に入る。

8 地域の発展に尽した郷土の偉人のこと)も四カ国語にわたっているというので、必ず外国語を勉強する必要にせまられている。そのための時間を小学校からさかねばならない。こうした点、日本では日本語一つで教えらるることの幸せ、従ってその分だけ多くの勉強ができる、というのを初めて知った。ありがたいことである。

C、スイスでは酪農が非常にさかんで、畜舎なども日本では見られない位りっぱな建物である。農業期には、学校は休み、家族総ぐるみで仕事をする。畜舎の近くをバスが走ると、例の特有のくさい香が鼻をつく。しかしスイスではくさいとは言わない。「これがスイスの香水です」と運転手が説明してくれる。これだけ、牧畜を尊重し、国の産業業に対して誇りを持っているわけだ。

このこと)も四カ国語にわたっているというので、必ず外国語を勉強する必要にせまられている。そのための時間を小学校からさかねばならない。こうした点、日本では日本語一つで教えらるることの幸せ、従ってその分だけ多くの勉強ができる、というのを初めて知った。ありがたいことである。

D、スイスほどに行っても美しい。緑も樹々も、その間の家屋の美を思うままに發揮している。なせだろ。スイス国歌に「われわれの美しいスイスをあくまで守つていこう」という一節があるし、憲法にも「美観の保存義務」を規定しているという。商店の看板は大きさが決められ、しかも許可なく建てられない。自分の家の庭の木でさえ勝手に切られない。林野庁の許可が必要だといふ。いわんや、学校教育がこのような社会教育を受けてつづき、徹底させているのはもろんなのである。

(ベルリンの壁)

ドイツには一週間滞在し、フランクフルト市を中心に学校訪問を通して教育事情を視察したが、一日西ベルリンに泊り、東ベルリンを訪れた。

ベルリンの人口は両方合せて三百万人以上もあるが、西ベルリンが約二百万人、東ベルリンが約百万人ぐらいのこと。その町の真中にいわゆる東西ベルリンを分ける壁をつくって、一方を英・仏・米の三国が管理し、他方をソ連が

管理している。普通は両方の往来がとぎされ、特に東ベルリンから西ベルリンには普通の状態では行けない。壁は厚さが二・三米、場所によっては更に厚く、高さは五・六米か、処によっては更に高い。壁の上には鉄条網がはりめぐらされ、その奥には電線を通している。壁の真ん中に見えるのが、ふれると板のようなものがある。ふれると一瞬にして死んでしまうとのこと。われわれは観光バスで東ベルリンを訪れた。検問所の厳しさは、話に聞いていたが、全く緊張させるものがある。東ベルリンの係官が降りこんでくると、車内はシートと静まりかえる。ニコリもしないで、「カメラをカバンの中に入れて、「かまさない。パスポートをたんに見、顔をよく確かめる。次は荷物の検査。隣の乗用車の検査を車窓から見ていたが、嚴重をきわめるものである。トランクは勿論運転席からボンネット、さらに車体の下に鏡をさしこんで調べるのだ。かって西側の青年が東側にいる恋人を、車体の下にしばりつけて逃亡したことがあるからだそう

このような状態の中で、ドイツ人は、ベルリンの人たちは、この「壁」についてどのように考えているのだろうか。ベルリン人数名、ガイド氏、それに西ベルリンで生活している日本人などの話を総合してみると、彼らは我々が思うほど、この問題を深刻に感じていないと思えるのである。ドイツはもとと連邦国家で、それぞれが連邦政府のもとに統一されていること。戦後の若い世代が働き盛りになつていくこと。東ドイツの最大貿易相手国が西ドイツであること。周囲の国々(フランスやイギリスなど)が統一を望んでいないことなどが原因となつていてのことである。ともあれ、同じ市民が、二つの相反する考えを持つ陣営に二分されていること。幸福とはいえないであろう。



パルメンガルテン スイスの子供達

の肖像をかかげ、具体的な教育目標としている。

A、小・中・高とも、いわゆる公的・名文章・詩などを徹底的に、しかも機械的に暗誦させている。これは最も素朴な教育方法の一つだが、継続させないと効果がでない。学習の基礎になるこの継続性を身につけさせる教育方針新しい試みばかりにとらわれ教師との対話や生徒同士の対話は授業中に自然に成立すると考える。地域のサークル活動やスポーツクラブに参加するの学校ではやらない。

5 生徒の政治活動への関心は主として地域の政治、学校の自治といった極めて具体的な面に向き

親子らしい五、六人が手を振ったり、ハンカチを振りまいたりしているのが見えた。東と西の門の間は約百米ぐらゐもあるが、西側の門の人々には見えなかつたが、西の方でも手をふっているらしかった。毎日のように時刻を決めて、「元氣だぞ、一生懸命やっているか、との合図だそう。この風景を見ていると、胸をしめつけられるような思いにかられるのである。

この料金のような建物があるだけだ)を越えフランス領に入ると、たとんに景色が悪くなる。シャヤニーからロープウェイに乗り、途中三〇〇メートルの地点で一回降りかえ、三八四メートルのエキューエ・トウ・ミディの頂上へ。かなり呼吸困難。ゆつくりと歩をすすめて展望台へ。そこから仰ぐ四八〇七メートルのモンブランの峰は驚くばかりの美しさ。ぬけるように青い空。モンブランが白い雄姿を誇る。連なる峰々の美しさは、とうてい言葉で表現することはできない。白く輝く雪の山、青白く光る大水河、まったくすばらしいのぞきかえりだ。……」



モンブランを望む

「なにかわらねど……」

「なにかわらねど……」

ループル美術館

パリ祭(七月十四日)の日の午



ローレライの岩の上でドイツ娘と筆者

らしいという他はない。日本の若い連中に会う。レストランの入口にカタカナで「エトラゼ」と書かれてあったり、案内のパンフレットが日本語で書かれていたり、日本人客の多いことを思わせる。日本人と言え、展望台のところに記念の落書きがある。そのほとんどが、恥を知らぬ日本人の書体である。ふと小生の眼前の落書きが目にとまった。

「〇〇〇年〇月我遂にこの地に到着す。〇〇大教授〇〇〇」

啞々、

ライン下り

アウトバーン(ヒットラーの残



600 余人 ここに結集

大総会カメラ慢歩

数々の期待と、試みのうちに開かれた四十五年度の総会は、六百人出席という、うれしい誤算のうちに行われた。小さいながらも、中にはあふれるばかりの熱と意気の結集、いろいろなハプニングの連続やらであったが、とにかく六百人が集まったということはいささか驚きであった。総会のもよりの一部をカメラで追ってみた。

これはいづれも、カラー写真であり、皆様に白黒でしかお見せできないのが残念である。同窓会本部に保管してありますので、ご希望の方には実費にておわけいたします。母校の近くへおいでの時はぜひお立ち寄り下さい。



← 受付



→ 待機



↑ 斉藤幹事長あいさつ

↓ 総会



↑ 上村副委員長



↑ 酒・ビール・人、みんな満員



↓ 応援歌合唱



↑ タヒチアンダンス

↓ 万代太鼓



↑ 歓談



特別教室棟完成

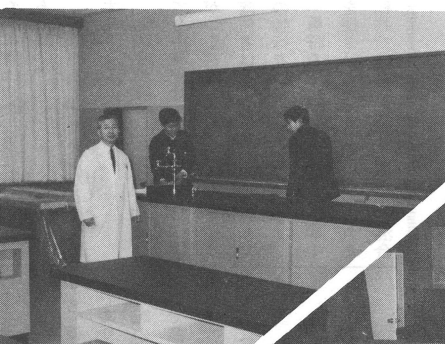
前号に一部ご紹介申し上げました特別教室棟が、十二月五日をもって竣工しました。

正門を入って右側に、本校舎とは渡り廊下につながれた、新しい棟が偉容を誇っております。

四月着工以来、約十カ月で完成された、総面積六六・一八平方メートル(約二百坪)三階建の内部は、一階に、地学教室、二階にL・L教室、三階には、音楽教室、及び

視聴覚教室、であり、内部設備については、母校復興期成会よりの支出になる、三百八十五万七千円をもって、それぞれの特別教育施設が設備され、来るべき新学期よりの使用が待たれるところであります。

これら、新設備をフルに活用し、幾多有為の人材の輩出を同窓会としても期して待つものであります。



1階 地学教室



2階 LL教室

3階 音楽視聴覚教室

編集後記

◆ 今号における巻頭には、うれしい誤算、六百余人が、大集合した総会の様子を、上村光司氏に筆をとっていただいた。ご承知のように、上村氏を陣頭に、よく若き幹事諸兄が一つのチームワークを見たあの総会、来るべき八十周年に向かつての輝かしい第一歩というべきであろう。写真特集と併せて、今一度盛会の感激にひたってもらいたいものである。

◆ 栄光燦たりではレスリング部を特集してみた。飯塚実氏は母校レスリング部の黄金時代を築き上げた人であり、氏自身も又、大学レスリング界に、アマチュアレスリング界において数々の功績を挙げられた人である。自分のことは書きづらいとのこと、後輩達の高校レスリング界での活躍に筆をしばられたわけであるが、オリンピック代表選手としての飯塚氏にどれだけ後輩達は敬意を寄せたことか、別の機会に又の寄稿を願う次第である。

◆ 東京青山同窓会も、新潟の大総会結集にはいささか驚かされた感であるが、もとをたせば、東京の盛会に刺激された、新潟の今回の盛会ともいえるので、今後共、両会相たずさえての、益々の発展を願うものである。

◆ 水友会、剣友会と、クラブ活動を通じての先輩、後輩のなごやかな集まりが報じられており、又クラス会合や、地域別の会合などの諸集会の様子、それぞれ、写真入りで楽しいものである。同窓会本部にご連絡下されば、機会を見て、会報上にご紹介申し上げますので、幹事諸兄は心にとめておいてほしいものです。

◆ 編集子としては、原稿料をさしあげられませんが心苦しいのですが、諸兄のご寄稿をぜひともお待ちしております。おびただし原稿の山の中でどれをボツにしようかと悩んでみたい、というのが私共のささやかな願いです。

白根青山同窓会記

晩秋十一月十五日第二回目的の青山同窓会を開いた。会場は料亭金山、折悪しく当日は種々の催し物があり予定していた人々が出席出来なかつた為昨年第一回より出席者が減つた事は大変残念でした。本部よりは鎌富会長さん、母校より内山先生、永年教鞭をとられた沢山先生、地元の外川先生をお招きしてかなり盛大に開かれた。斎藤幹事長さんは所用の為欠席さる。

四時半頃宴に移るや吉川文雄さんの挨拶に始まり本部側からは会長さん内山先生、沢山先生、等諸先生が懐かしいお話や母校の近況を述べられると一同耳をすましてこれに聞く。



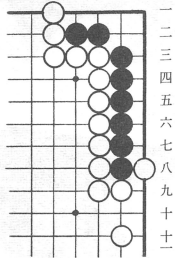
昭和45. 11. 15 白根青山同窓会

白おかしく話術巧みに話をされれば酔うほどに各々マイクに向つて昔の悪事を語り合う等益々賑やかになつてくる。思ひ出を語り現在を見つめ将来を話し合うこそ意義ある事であると沁々と感ずるのである。終りに近づけば玲瓏の天の校歌を一同で斉唱し宴会前に配付してあつた応援歌の数々を童心に帰し我々の声は四辺を圧し現代の元禄風潮を吹きとばさん勢いで慶應入学を許可された昔話を面

青山棋院入門資格検定試験問題

白先
第一の着手は明白。これで簡単に黒死かと思えば、左にあらす。第四の着手に妙手ありて、石の下となる。それでは黒活かと思えば、これ又左にあらす。その後も変幻自在、活かと思えば死、死かと思えば活。手順の妙もここに極まる。結果いかに？

13 14 15 16 17 18 19



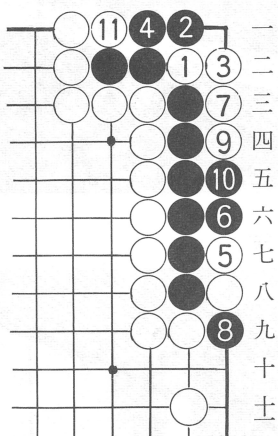
正解者 ナシ

お詫び：出題者は出題当時、黒死と見ておりましたが、その後検討の結果、下のように黒活であることが判りました。こんな問題になってしまったことをお詫び致します。

- ⑧ 白 2 目トリ
- ⑫ 八-19 黒活

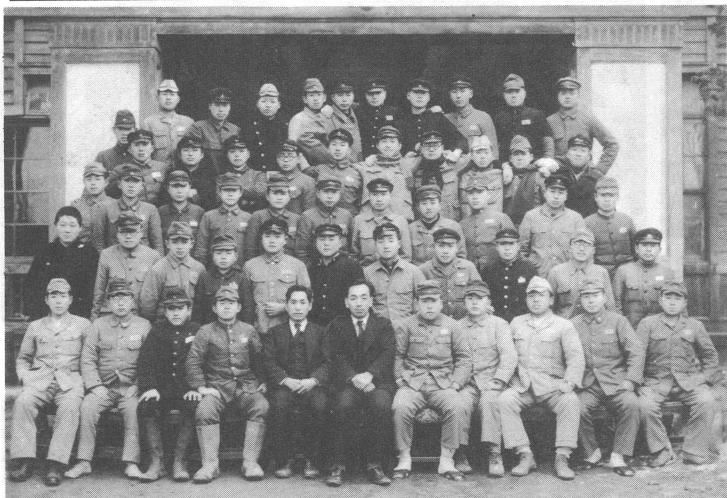
《解答》

14 15 16 17 18 19



〔参考〕

- ⑬ 一-19 黒 4 目トリ
- ⑭ 二-17 (石の下) で活
- ⑪ 八-19 ならば
- ⑫ 一-19 白 4 目トリ で活



昭和21年春のころ 55回生

花の55回 意気高し

山田源行君
鏡ヶ丘高校校長に就任
武藤輝一君
新大外科教授に選任

私共55回生は太平洋戦争の緒戦の戦果赫々たる昭和17年春に新中の校門をくぐつたのであります。私共が小学校の頃は「国民学校」と称していた時代でしたが、担任の先生から「新中に合格すると、創立50周年記念に会えるのだから、頑張りよ」と激励されたもので、憧れの「赤線」の入った帽子と制服をお預けで、国防色の戦斗帽に作業衣まがいのお粗末な服を買わせられたのには落胆したものであります。

大昭和戴日にはバケツをぶら下げて登校し、日ノ丸弁当を腰にして農家の肥料代用品である灰あつめをさせられたものであります。こうした時代でも、名物の「ガイトン」は欠かさず繰り返され上級生が軍事演習に出た日には、天皇陛下御賞与の鉄砲磨きの為日暮れも待っていました。先生の



武藤輝一君



山田源行君



新中48期会 昭和45. 11. 14 於 鳥梅

48回生同期会の記

我等の同期会は幹事大塚進弥、大橋明自両君等の肝入りで二、三年に一度行われてきたが、今年第10回目の集い。村上高校御退職のあと二三の学校に講師をおつとめの阿部利三郎、沼垂高校より明訓高校に移られた

お陰様で、会費を納入下さる会員の方も、逐年、増加の一途をたどり、有難いことと感謝致しております。しかしながら、年々卒業後新たに入会される新会員の方々の数の増加に比して今一段の会費納入をお願い致したいものであります。すべての同窓会活動の源を、やはり豊かな財源に、その源を発することです。今号には初めの試みとして、会費納入者の芳名を発表させていただきますので、ご覧の上、各期それぞれ、未納の方々に呼びかけてくださるようお願いいたします。

両先生またほとんどお変わりもなく、かつていかなる猛者といえども一度御説教をたまわるや忽ち悔悟の涙にかききれざる者なしという阿部先生の諄々として心のこもつたお話しぶり、鷲尾先生のユーモアたっぷりの軽妙な御挨拶を承り、一同ますます「新中の昔にかえり、名調子の平家物語をききし教室、あるいは逆上りの尻を叩かれしグラウンドにある心地。やがて酒杯のまわるにつれて、近況報告あり、クラスメイトの消息あり、お目玉をくらつた思い出あり、和歌の朗詠、漫談、県高は新中時代の剛健の風潮なというガイトン、はては子供の入学試験の話ありで、和気あいあい、まことに盛會でつきぬ談話の時を忘れて「玲瓏の天」を意気高らかに歌つて一応の散會と相成つた。今後十一月の第二土曜日を定例会の日とし毎年開催と衆議一決。出席メンバーやもすれば固定化の傾向あり、今まで不参の諸君の御出席を切望する。

会費納入のお願い

青山水友会 東京に集う

七月四日東京区千駄木の高風荘に於て、三回りの山添氏より六四回の永原氏まで二十名梅雨の中を定刻までに集合す。

一昨年水上温泉以来の再会として互いに健康を祝しあい、「相変らず若いなあ」とか、「何時も変らんなあ」などお互いに世辞を振りまげど、迂闊に喜ぶ無分別の齢はとうに過ぎ、鬢髪既に霜を混じうるあり、黄頭蛍光を凌ぐありで大部分は自信喪失の域に在りと覚ゆ。

山添、鎗居、宇佐美の三氏は昭和二年以来実に四〇余年振りの再会として献酬の間、話は勢い青山時代に遡る。

水底泥棒の罪を一身に引受けたとか(山添)

砂丘を二つも越え漸く海岸に辿りついた(鎗居五十嵐チヨンピンと二人で馬賊志願したとか(宇佐美))

想いに花が咲き次々と語られ

青山剣友会 往年の猛者集う

道部は上昇している。

今年も八月二日、十一月二十九日の再度にわたって青山の大先輩たちに稽古に来て貰った。八月は丁度合宿の納会の日、二時間余りの長い間、懸命に稽古を願う。恒例により「関屋ダン」の寄贈にあずかる今は昔、三十年も四十年もの大昔に、質実剛健な少年どもの胃袋をふくらましたダンゴは、きつと今よりも甘く豊かな量と質を持っていても知れない。――後輩たるもの、よくくこの味を咀嚼して欲しいものだ。

十一月二十九日は「青山剣友会」の総会。グングン降った気温は到頭新潟にも珍らしい霜月の初雪となった。

午後三時から稽古。時折折りは吹雪まじりの悪天候ものかは、若手といつてももう知命御年長はいともさらなる選層を超えてはいても、飯より好きな剣道一直線の先輩がた。二十数名の現役相手に二時間余りの猛稽古が操りひろげられた。

何十年ぶりで道具をつけると述懐しながら平石恒夫会長(33回)が颯爽手にとるは、握り太ト、六本竹の素振り用大竹刀、真剣ならさしずめ胴田貫キ厚重ねの剛刀。こちらでは大屋恒夫副会長(35回)愛用の防具がきながら黒革絨の大鏡かと閃めく。学生の頃ヒトラ・ムツソーニ時代の独伊に「剣」の使した星名先輩(41回)の剣さばきは重厚さを加えて往年の精神さらにおとろえぬ。敗けじと振いたつ萱野先輩(41回) 日頃酒をつ、しみ、人蔘を食ひ、信濃河畔を馳せまわつて鍛えているのはこの日のためとばかりに雄叫びをあげる。続いて、俺たちは何時迄たつても青山剣友会では未輩扱い、是非もなや、糞ツとオツムの光は先輩に劣らぬ佐々木勸籠先輩ら。

稽古終つて、大屋さんの挨拶、星名さんの注意をいたさき、充実した時間がしめく、られた。

夜は静かに更け、船蕩と盃はめぐる。豪快快語、剣の仲間歓びの宴は何時迄もく、尽きることなく続いていた。

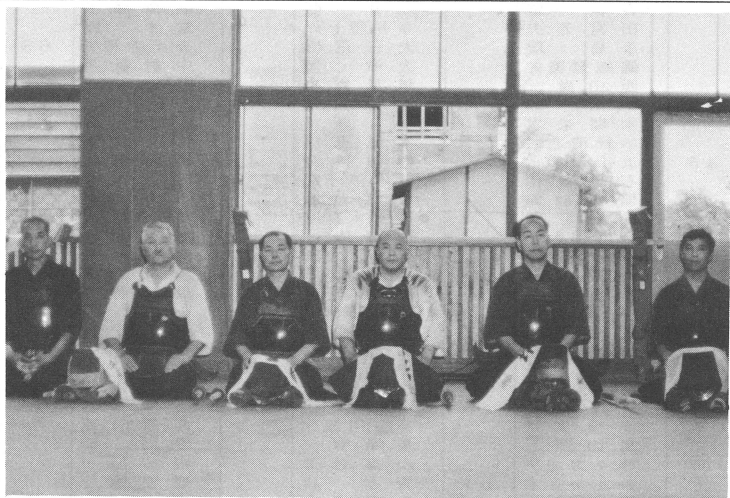
――(此度、青山剣友会の先輩方による「新潟高校剣道部後援会」が倍旧の御努力をいたさき、多額の資金を頂戴いたしました。後輩も一層奮起いたす所存であります)御稽古を頂戴した方、総会に御参加の方は左記の通り。(略敬称)

飯村恒二(31回)
平石恒夫(33回)
大屋恒夫(35回)
相馬雄三(35回)



青 山 水 友 会

青山剣友会の大先輩の方々が名実ともに指導応援をして下さるようになつてから数年。後輩の面々も呼応して練習に磨むようになつて来た。征く道はまだく、遠く険しいが、少しずつ、新高剣



青 山 剣 友 会

(44回) デブリ太つた重役肚の仁多見一彦先輩(44回)の両雄。またこ、に、五十嵐貞司御老体と新大出身の近藤先輩のお二人が先輩団の両端を飾つて、ここを先途の一眼二足三胆四力。道場一ぱい入り乱れて若い男女の高校生と鎧をけずつて「チャウチャウハッ、ハッ」ハッ。凛烈のファイトと陶然たる和気がかもし出す断絶知らぬ三味境に戸外の冬は何処へや

片桐靖門(40回)
星名孝平(41回)
萱野四郎(41回)
佐々木勸籠(44回)
仁多見一彦(44回)
関崎睦夫(45回)
鳥居俊夫(47回)
水戸正郎(48回)
五十嵐貞司(剣友)
近藤博(新高)
齊藤三郎(新高高教諭)



青 陵 飲 食 街
レ ス ト ラ ン 大 坂 屋

創業昭和八年のレストラン大坂屋。「お菓子の大阪屋」が知られる前から、越路の首府、新潟で洋食の純粋な味を通人に提供して来たこのレストランを訪ねた。

桜井一緒(34年卒)

学習院大学英文科に進学した彼の周囲を燃えさせたのは、彼はその初期の純粋な雰囲気の中の人となつたのである。若い血がおどつたのも無理はない。渦中の人となつた彼は、デモまたデモのある日負傷。自分と社会との接点に疑問をいだき、学習院大を中退した。日活国際会館での血洗いの職は、彼の新しい門出にふさわしく、過去の汚点を拭拭した。

経営学を学んだ彼は、昭和四十四年十二月、郷里新潟の古き良き時代の象徴レストラン大坂屋をとりにこわし、モダンなビルを新築した。

今は亡き先代の胸像が見守る新レストラン、大坂屋のテーブルに坐る彼の口から聞き出した抱負を聴いていただきたい。

「見てくれ、主義の料理。西洋料理か日本料理か区別のつかない料理が客の味覚をまひさせている昨今、質の面で、これが洋食だ、とお客さんに楽しんでいただける料理、オーソドックスな洋食をつくりたいと思つて励んでいます。」

レストラン・大坂屋のインテリア(内部)は、一言でいってスイスの伝統的なレストランの雰囲気をもし出す内装である。家族連れをくつろがせてくれるゆったりとしたスペース。なかでも人目をひくのは、元大関常陸岩(実父の兄)の常用した昭和初期のレストラン用ボックスであろう。四人家族ならすつぽりと埋るようなこのボックスで味う洋食の味を一度試したいと思うのである。テーブルや椅子は、信州松本市の職人の銘入りの名作であるのが心憎い。

桜井一緒氏は二児の父、奥さんは仕事を通じて得た才女。おふくろさん共ども、新潟に正しい洋食の味を「モットー」に、特に材料の仕込みの監督にきびしい目を向けながら、今日もサービスに励んでいるのです。青陵紳士淑女の来訪を心待ちにしながら、心から声援をおくりたいものです。

メニューの一部
ポタージュ 二〇〇円
グラタン 三〇〇〜三五〇円
シチュー 五三〇円
デイナー・フルコース
(A) 二〇〇円
(B) 一五〇〇円

開店時間
午前十一時〜午後九時半
土、日曜は満員の盛況ですので予約されることを勧めます。

会 員 の 移 動 (昭和45年7月以降)

卒業回数 氏名 職業、勤務先 住 所

物 故 会 員

21	安藤寿雄	勝楽寺住職	46. 1. 7	60	土谷茂己	新潟硫酸(株)	45. 5. 25
28	渡辺弥惣太		45. 6. 20	68	井沢清	新大医学部	45. 12. 29
47	高橋静也	化工機械設計業	45. 6. 25	54	加無木昭一郎		45. 秋

昭和 45 年度 青山同窓会 費納入者

(年額 1 口 500 円 ●印 2 口以上)
(4 月～12 月までに納入済のもの)

本年度分未納の方は 3 月までに納入下さるようお願い申し上げます。
この分については次回会報に掲載いたします。

期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名
7	次義郎平三	33	郎広司寛一	38	武一夫	43	吉助男	48	己夫郎	52	朗夫	60	也明雄	通信制	子光
11	保孝一	33	二忠	38	正信由	43	和之貞	48	正五正	52	昭和	60	達智行	通信制	光正
14	内間橋島	33	垣瀬山	38	田沼上	43	藤藤木	48	間間戸	52	木田	60	奥小橋	通信制	崎田
16	山本高倉	33	西広福	38	太大小	43	佐佐洪	48	本本水	52	湯吉渡	60	田林本	通信制	久保
19	富鳴川	34	松山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
20	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
21	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
22	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
23	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
24	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
25	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
26	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
27	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
28	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
29	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
30	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
31	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
32	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保
33	富鳴川	34	山山山	38	沼上柳	43	藤木中	48	間間戸	52	昭和	60	田林本	通信制	保保

総会当日同窓会費を納入された方で、受付混雑のため、
或は記入もれがあるかも知れませんので、お気付きの方は
お申し出下さる様、お願い致します。